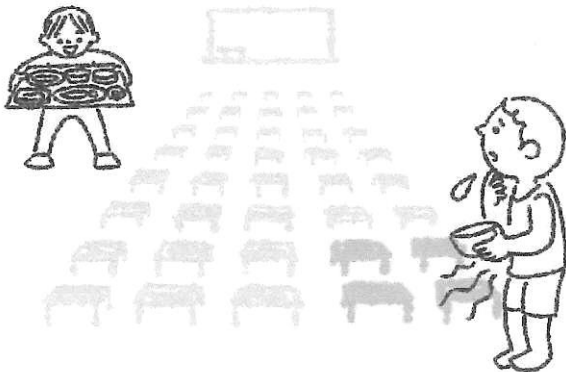


<私ができること>

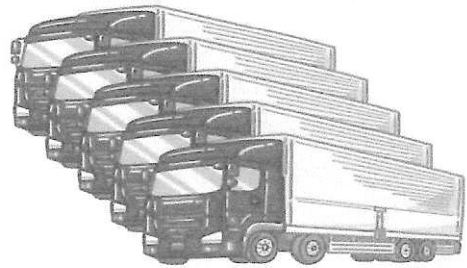
申命記15：7～11

たとえば、こんな問題が……



世界を生徒 44 人の教室と考えると
その日食べるものがない、明日以降も
食べ物をえられるか分からない状態の
人が 4 人もいます。

日本の食品ロスは 年間約464万トン



10tトラック 約46台分の食糧を廃棄

* 飢餓は、食糧が不足しているというのが原因では
なくて、食べ物があっても必要なところに行き届かない
という問題。

【世界食糧デー】 毎年10月16日。国連が定めた。

「すべての人と食べる幸せを分かち合える世界へ」を目指して

「世界の食料問題を考える日」1981年からスタート

“人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標”

国連は2015年9月の国連サミットでSDGs(Sustainable Development Goals)

「持続可能な開発目標（17項目）」を採択した。

<主の祈り> マタイ6：9～13

祈りの内容は6つ 第1～3は神の栄光を求める祈り

第4～6は私たちの必要を求める祈り

私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。 マタイ6：11

「私たち」の範囲はどこまで…？ 自分の家族だけ…？！

あなたの兄弟のひとりが、もし貧しかったなら、その貧しい兄弟に対して、あなたの心を閉じてはならない。また手を閉じてはならない。進んであなたの手を彼に開き、その必要としているものを十分に貸し与えなければならない。 【7、8節】

①心を閉じてはならない 手を閉じてはならない

自分以外の人や国が、どんな状況なのか関心を持つこと。

自分が食べられたら、他はどうでも良い。これは閉ざしていること。

②手を開かなければならない

自分が持っているものを分け与えること。

土地は神に属するもの。人はそれを預かって管理しているにすぎない。

- ◆律法では、貧しい者が6年間仕えたら、7年目には解放しなければならなかった。その時には、何も持たせず去らせてはならなかった。必ず羊か、穀物を与えた。

彼を自由の身にしてやるときは、何も持たせず去らせてはならない。必ず、あなたの羊の群れと打ち場と酒ぶねのうちから取って、彼にあてがってやらなければならない。あなたの神、主があなたに祝福として与えられたものを、彼に与えなければならない。 【13、14節】

- ◆エジプトの奴隷で、何も持っていない者であったが、主の恵みによって富む者となった。そのことを忘れにないように。自分達も神の恵みを受けたのだから、その恵みを他のものに分かち合うように。